【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年1月27日(2005.1.27)

【公表番号】特表2004-501238(P2004-501238A)
【公表日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2001-587884(P2001-587884)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｆ　6/12
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｆ　6/12

【手続補正書】
【提出日】平成14年12月3日(2002.12.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１６９℃（３３５°Ｆ）と２８８℃（５５０°Ｆ）の間の温度の高圧スチームによって、ポリマーセメントから溶媒を分離するためのコンタクタ装置であって、
ガス流中への前記ポリマーセメントのための引き入れ口を有する第１のサブソニックセクションと、
収束する断面面積を有する第２のセクションと、
前記第１のセクションに比較して、より小さな断面面積を有する第３のセクションと、
音速を達成するのに充分な、発散する断面面積を有する第４のセクションと、
前記第３のセクションに比較して、より大きな断面面積を有する放出セクションと
を具備する、装置。
【請求項２】
コンタクタ装置内でポリマーセメントから溶媒を分離するための方法であって、
１６９℃（３３５°Ｆ）と２８８℃（５５０°Ｆ）の間の温度の高圧スチームおよび前記ポリマーセメントを第１のセクション内に導入することと、
前記第１のサブソニックのセクション内で、前記スチームとポリマーセメントを混合することと、
収束する断面面積を有する第２のセクションを通して、前記混合物を流通させることと、
前記溶媒を有する小滴を形成させることと、
約８から約１２までの範囲の長さ対直径の比を有する第３のセクションを通して前記混合物を流通させることと、
音速を達成するのに充分な発散する断面面積を有する第４のセクションを通して、前記混合物を流通させることと、
前記ポリマーから前記溶媒を急速に気化させることと、
放出セクションを通して、前記ポリマーおよび前記溶媒を流通させることと、
前記溶媒から、改善された粒子サイズ分布および間隙率を有するポリマー粒子を分離させることとを有する方法。